



日本初・「教育 DX」と「教育機関の経営」に特化したフルオンライン大学院

教育テック大学院大学 開学式・入学式を開催(4/5)

北海道から沖縄、アジア、67名の社会人が入学

報道各位

学校法人 OCC
教育テック大学院大学

学校法人 OCC（本部大阪市阿倍野区、理事長 根岸正州）は、2025年4月5日、教育テック大学院大学の開学式・入学式を開催しましたのでお知らせいたします。本学は、日本初の教育 DX と学校など教育機関の経営を学ぶ、フルオンラインの専門職大学院です。昨年8月末に文部科学省の設置認可を得て、教育情報・経営リーダーシップ研究科 教育情報・経営リーダーシップ専攻 教育情報コース、教育経営コースの1期生、定員67名を募集し、同人数の新入大学院生が入学しました。

開学式・入学式は入間キャンパス（埼玉県入間市）、阿倍野会場、オンラインを結んだハイブリッド方式にて開催しました。67名の1期生は、20代～60代の社会人、居住地は北海道から沖縄、またアジア各国の出身者（来日して働きながら就学）まで幅広く、その職業も幼保小中高大学の教員・職員、教育 DX 事業者、生涯学習事業者など多岐にわたります。教育・経営・情報（ICT）の知識・スキルを身につけて教育の未来を構想し、教育現場と学校など教育機関の経営を革新する人材を養成します。教育テック大学院大学は、教育の未来を切り拓くという志を持ち、社会変革を起こし新たな価値の創出をめざします。

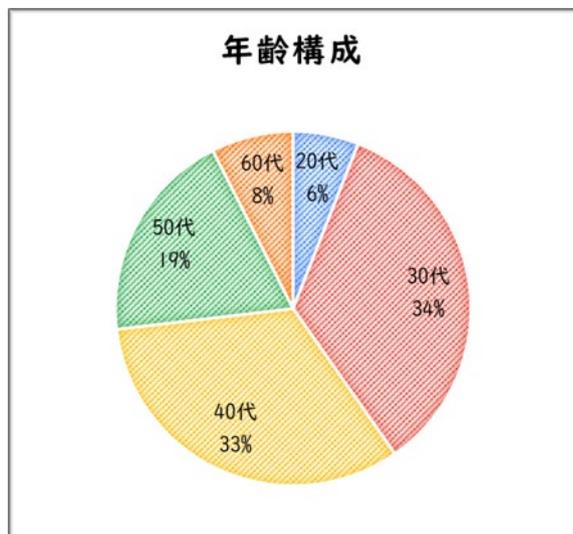
開学式の根岸正州理事長による式辞では、「教育 DX による本質的な学びを再構築し、また教育機関の経営危機に対して「変革のリーダー」を育成し、「世界中の学校を救う学校になる」ことを目指す」と述べました。入学式の竹村治雄学長による式辞では、「皆さんを、知識を受け取る学生としてではなく、教育の未来を共に創るパートナーとして迎え入れています。どうか恐れることなく、自ら問いを立て、異なる視点と出会い、対話と探究を繰り返しながら、自らの専門性を磨いていってください。」と述べています。

平将明衆議院議員（デジタル大臣）からは、「現在、国を挙げて学校教育の DX を加速させているところであり、そのような中、本学のようにデジタルと教育経営の両面からリーダーを育成する場が生まれたことは、タイムリーかつ心強い限り」「（教育テック大学院大学は）政府の「デジタル田

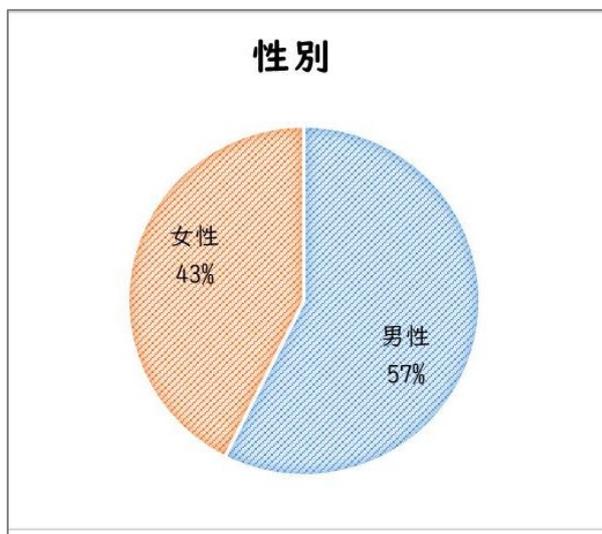
園都市国家構想」のような国家ビジョンとも呼応する形で誕生いたしました。オンラインで全国どこからでも学べる本学の仕組みは、地方の教育者にも門戸を開き、各地から志ある人材が集い、学び合い、得た知見を地域の現場へ持ち帰ることを可能にします。こうした好循環が生まれることで、日本全体の教育力が底上げされるものと大いに期待しております。」と祝辞をいただきました。そのほかの祝辞として、文部科学省高等教育局 局長 伊藤学司様、埼玉県知事 大野元裕様、埼玉県入間市長 杉島理一郎様、埼玉県戸田市 教育長 戸ヶ崎勤様、早稲田大学名誉顧問 日本 I EdTech 協会理事長 白井克彦様、学校法人平安女学院 理事長 毛利憲一様、京都光華女子大学学長 高見茂様、株式会社学研エデュケーション代表取締役社長 川端篤様、元文部科学省・生涯学習政策局長 本学・合田隆史特任教授よりいただきました。

新入院生の代表として、リオデジャネイロ・パラリンピック車椅子ラグビー銅メダリスト官野一彦さんより「異なるバックボーンを持つ学生が高い志を持って入学し、自身もアスリートとして、会社員として複数の立場を持ちながら挑戦します。この挑戦と学びが新たな価値に変わり社会貢献出来るよう、精一杯学んでいきたい」と宣誓し、また、インドネシアでプログラミング教室を営み来日して働きながら学ぶアナスタシアアマンダさんより「大学院生として、教育テック大学院大学での学びを通じて、インドネシアをはじめ、教育革命を起こし、優れた教育が受けられる学校を作りたいという私の夢を叶えます。そのため、大学院での学びと人的ネットワークを最大限に活かし、努力を惜しまないことを誓います。」と宣誓をしました。

【1期生 67 名のプロフィール】



出典：出願時情報（67名）

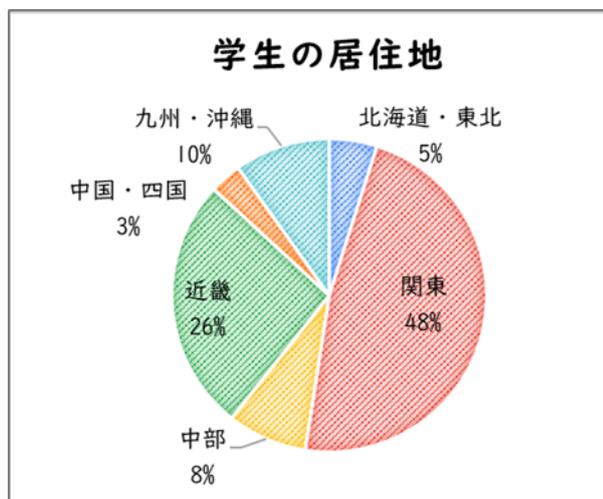


出典：入学者アンケート（回答 54 名）

1期生の年齢は24～69歳で平均は42.2歳。30代、40代が3分の2を占めます。

性別は男性57%、女性43%となっています。

◆ 北は北海道から、南は沖縄まで幅広い居住地。アジアからも6名が入学。

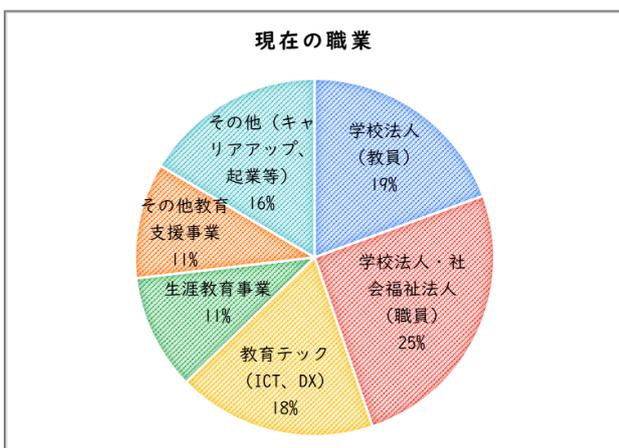


北海道	2	大阪	9
岩手	1	京都	1
新潟	2	奈良	4
長野	1	兵庫	2
愛知	2	広島	1
栃木	3	山口	1
東京	19	福岡	1
埼玉	4	熊本	2
千葉	3	沖縄	3
神奈川	6	合計	67名

学生の居住地は、北海道から九州・沖縄まで幅広く、関東が約半数（48%）、関西 26%となっています。なお、アジア出身者（インドネシア、バングラディッシュ、カンボジア）も6名います。

出典：出願時情報（67名）

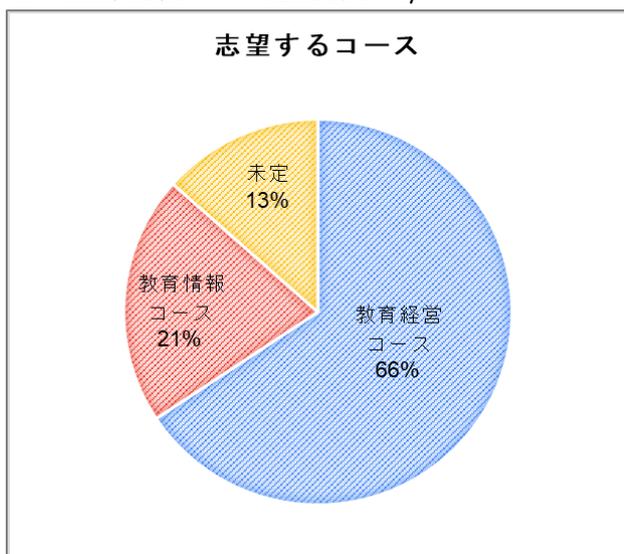
◆ 幅広く多彩な教育関係者



現在の職業は幼保小中高校・大学の教員が約2割（19%）、職員が25%、教育テック事業従事者（18%）、生涯教育事業関係者（11%）となっています。中には、民間出身の中高一貫校の校長、パラアスリート（パラリンピックの銅メダリスト）や宇宙飛行士で宇宙事業の経営者、インドネシア出身で修士取得後は母国で学校設立を志す30代女性などユニークで多彩です。

出典：出願時情報（67名）

◆ 教育経営コース志望者が2/3

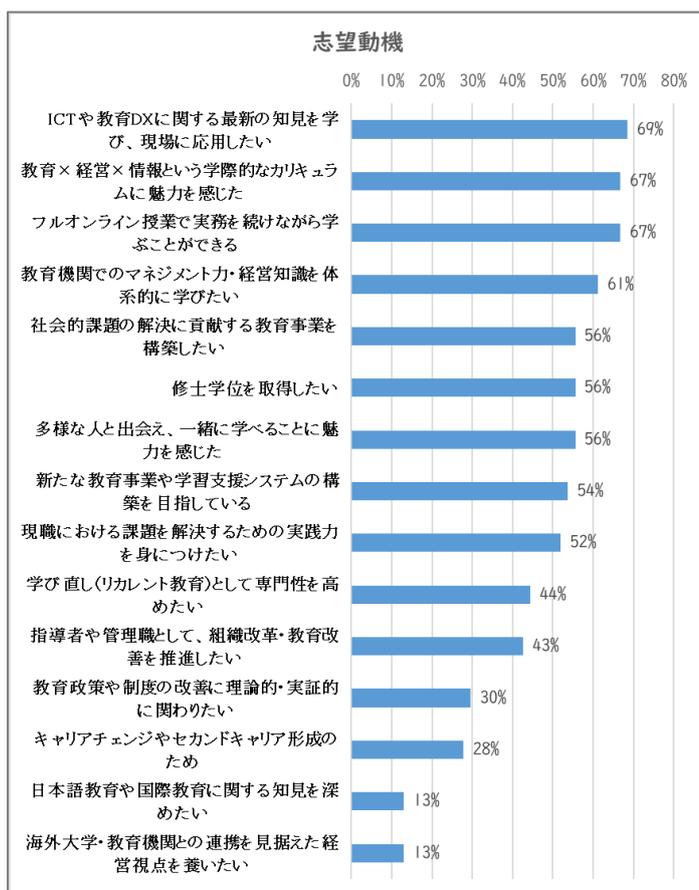


本学は、教育情報コース、教育経営コースがあり、2年間で「教育構想実践書」を作成することで、それぞれの教育経営学修士（教育のMBA）、教育情報学修士（教育のIT修士）を取得することができます。

1期生の出願時の志望コースは教育経営コースが2/3（66%）、教育情報コースが約2割（21%）と教育経営コースが多くなっていますが、2年次に進学する際にコース変更も可能です。

出典：出願時情報（67名）

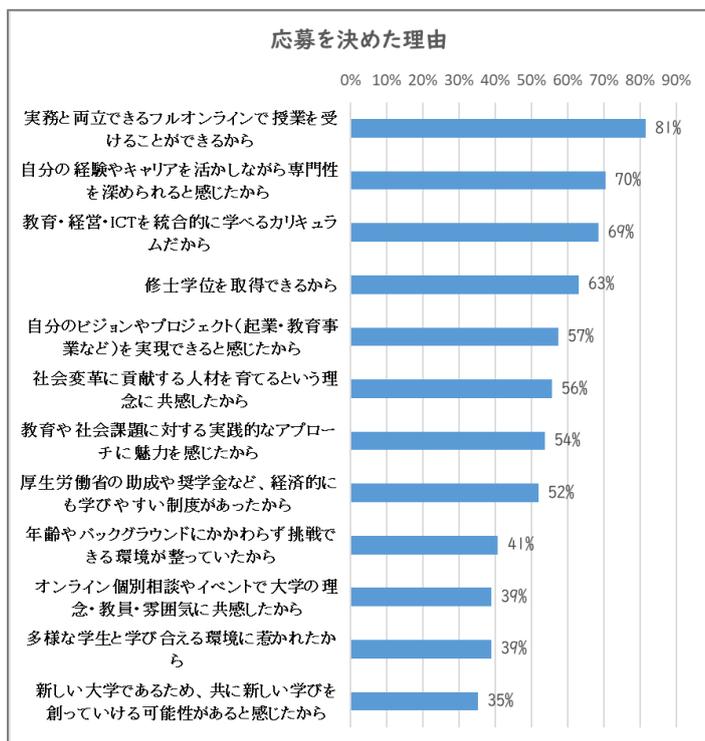
◆ 教育DXと経営の統合カリキュラムが魅力



本学は、いずれのコースでも必修科目に情報学、経営学、教育学関連の科目が設置されています。志望理由を入学者に聞いたところ（複数回答）、上位3項目は「ICTや教育DXに関する最新の知見を学び、現場に活用したい」（69%）、「教育×経営×情報という学際的なカリキュラムに魅力を感じた」（67%）、「フルオンライン授業で実務を続けながら学ぶことができる」（67%）でした。また、「多彩な人と出会い、一緒に学ぶことに魅力を感じた」（56%）や、「現場における課題を解決するための実践力を身につけたい」（52%）というように、多様な教育関係者との出会いや、現在直面している課題の解決といった実践的な面に期待が集まっています。

出典：入学者アンケート（回答54名）

◆フルオンライン授業で実務と両立をめざす



現役の教職員や実務家にとって、学びと実務の両立がこれまでネックになってきました。今回の入学者にとって応募を決めた理由は「実務と両立できるフルオンラインで授業を受けることができるから」(81%)が8割を超えており、次いで「自分の経験やキャリアを活かしながら専門性を深められると感じたから」(70%)となっています。その他、教育・経営・情報を統合的に学ぶことや、修士号を取得できることも応募を決めた上位の理由となっています。

出典：入学者アンケート（回答 54 名）

◆ 開学式・入学式の写真



根岸正州 学校法人OCC 理事長



竹村治雄 教育テック大学院大学 学長



祝辞 平将明 衆議院議員（デジタル大臣）



新入院生宣誓 官野一彦 さん



新入院生宣誓 アナスタシア アマング さん

本件に関する問い合わせは下記までお願いいたします。

学校法人 OCC
教育テック大学院大学 事務局長 織田竜輔
Email : office@e-mbatech.ac.jp Tel : 050-3645-7911
URL : <https://www.e-mbatech.ac.jp/>
〒358-0033 埼玉県入間市狭山台一丁目3番7